

# 新村政スタート

夢と希望を叶える  
「宝の山★たかやま」の  
未来を皆さまと共に！

高山村長 後藤 明宏

このたび、多くの村民の皆さまの温かいご支援を賜り、新村長として村政の舵取りを担わせていただくこととなりました。改めてその職責の重さに身の引き締まる思いであり、皆さまの期待に応えるべく、誠心誠意、村政運営に邁進する覚悟でございます。

私たちの高山村は、豊かな自然環境に恵まれ、四季折々の美しさが息づく「宝の山」です。この素晴らしい環境を守り抜き、次世代へと引き継いでいくことは、私たちに課せられた大切な使命です。私は、この「宝」を最大限に生かし、村民の皆さまが主役となる村づくりを進めてまいります。

最優先課題として取り組むのは、農山村が直面する諸課題の解決です。本村の基幹産業である農業においては、特産品のブランド化を強力に推進し、高山ブランドの価値を内外に高めることで、活力ある産業基盤を築きます。

また、避けては通れない少子高齢化対策として、切れ目のない子育て支援を充実させ、若い世代が夢と希望をかなえられる環境を整えます。同時に高齢者の皆さまが住み慣れた地域で生きがいを持ち、健康寿命を延ばしながら幸福感を実感できる「健康長寿の村」づくりを推進いたします。

これらの施策を確かなものにするためには、健全な行財政改革が不可欠です。限られた財源を効率的に活用し、持続可能な行財政基盤を確立するとともに、職員1人1人が知恵を出し合い、スピード感を持って実行する組織へと進化しなければなりません。

村政の基本は「村民参加」にあります。皆さまの声を聴き、対話を重視し、透明性の高い、開かれた村政にいたします。1人1人の思いが村の力となり、共に歩むことで、高山村はさらに輝きを増すと確信しております。

村民の皆さまが「この村に住んでよかった」と心から誇れる、笑顔あふれる高山村を創り上げるため、全身全霊を捧げてまいります。皆さまの変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



前村長

後藤 幸三



5月を迎え、爽やかな風が心地よい季節となりました。村民皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと、このたび任期満了に伴い、3月30日をもって村長を退任いたしました。

「笑顔で輝く高山村」を目標に、12年にわたり村政運営に取り組んできましたが、こうして大過なくその職を全うできましたのも、ひとえに村民の皆さまの温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

在任中は、人口減少や少子高齢化といった課題に向き合いながら、総合計画の推進や拠点整備、子育て支援や福祉など、将来を見据えた基盤づくりに努めてまいりました。

また、防災体制の強化や地域における支え合いの仕組みづくりにも取り組み、安心・安全な暮らしの確保に力を注いできました。

令和4年9月には「むらの中心地づくり」として開発を進めてきた「たかやま未来センターさとのわ」が、中心地の新たな拠点施設として仲間入りをし、さとのわを核とした村内外の人たちによる交流、関係人口の更なる増加を図り、村の経済・産業の活性化と住民福祉の増進を

図るため全力で取り組んでまいりました。

さらに、高山村の主要産業である農業関係では、令和6年2月に有機農業への取り組みを推進するため「オーガニックビレッジ」宣言をいたしました。同年12月には、構造改革特別区域として、「ワイン特区」の認定を受けております。

令和7年3月には、念願であった高山きゅうりの「GI登録」がなされました。これらを契機として、農産物のブランド化、学校給食での活用、農産物直売所の販売に加え販路の拡大にも努めてまいりました。同時に、慣行農業の更なる推進にも力を入れ、単一作物の効率的・安定的な大量生産を図ることにより、農業の更なる活性化を図ってきました。

農業をはじめとする地域産業の振興、地域資源の価値を高めるためのこれまでの歩みが、今後の本村の発展に繋がっていくことを心より願っております。

結びに、これまで支えてくださったすべての皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。今後とも本村が、誰もが安心して暮らせる魅力ある地域として、さらに発展していくことを心よりお祈り申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございます。

前副村長

平形 郁雄



新緑の候、村民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと、このたび令和8年3月10日をもって、高山村副村長の職を退任いたしました。令和2年7月に副村長を拝命以来、後藤幸三前村長の補佐役として微力ではございますが精一杯努めてまいりました。

あわせて村の観光施設の指定管理者である、株式会社たかやま振興公社の代表取締役として、地域のにぎわいづくりや交流の場の定着に関わることができたのは、大変意義深い経験であったと感じております。

顧みますと、就任当時は新型コロナウイルスが猛威を振るっている時期であり、前例のない事態にあってその対応に苦慮いたしました。職員をはじめ関係各位のご協力を得てなんとか乗り切ることができました。

令和3年には各家庭へのテレビ地上デジタル波の送信開始、令和4年には「たかやま未

来センターさとのわ」のオープン、高山村唯一のスーパーの閉店、令和5年にはサンモール高山店のオープンなどがありました。令和6年は波乱の幕開けとなり、元日から能登半島の地震があり、高山村においても鳥インフルエンザの発生により約32万羽のニワトリを処分するという事態となりました。この年は高山村がオーガニックビレッジ宣言をし、構造改革特別区域「たからのやまたかやまワイン特区」の認定を受けた年でもありました。次ぐ、令和7年には「高山きゅうり」のGI登録、第6次高山村総合計画の策定と多くの出来事に携わってまいりました。

至らぬ点多々あったかと存じますが、在任中に多くの村民の皆さまから温かいご理解とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。ともに、今後の高山村のさらなる発展と、村民皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。退任のあいさつといたします。